

# 地域生活サポートセンター設立へ！ D村の場合

従来の  
事業

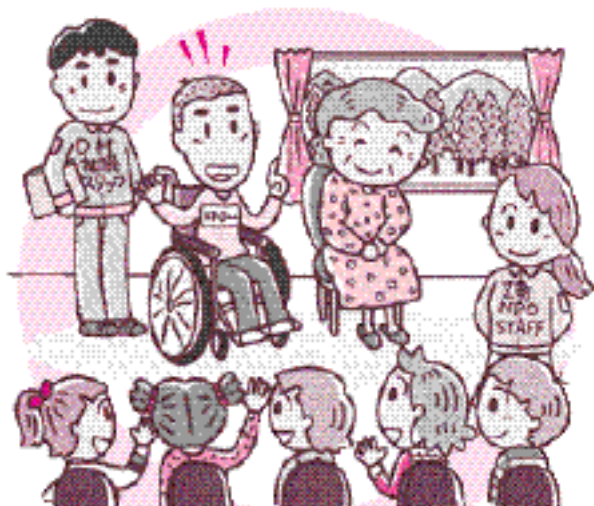
## 「地域ケア連絡会」

基幹型在宅介護支援センターが中心となって、  
村内の介護サービス事業所が連携。  
情報共有や適正なサービス展開ができるシステムをつくっていました。



展開

- ボランティアセンター機能、地域型在宅介護支援センター的な機能を付加
- 村内、村外のNPO団体の参画



地域生活  
サポート  
センター

既存事業

介護サービス事業

付加機能

総合的な相談窓口・  
コーディネート機能を設置

村内の  
NPO団体の参入

村外の  
NPO団体の参入

＜プラットフォームシステムのいっそうの充実＞

強化

マネジメント  
効果

ネットワーク  
効果

生活圏域  
効果

まとめ

## サービスの幅の広がりとの質の向上

NPO同士の連携、社協事業との協働により、老人福祉、障害者福祉、児童福祉など、これまでは対応できなかった幅広いサービス・事業も実施可能になりました。また、多数のNPOが参画することによって、各サービスについてもよりニーズに適した濃密なサービスの提供が可能になりました。

- それぞれの団体が対応可能なサービスを出し合うことで、無理な事業展開をせずに、適切なサービスを提供できます。
- 共同事業、共同サービス展開が可能となり、経費節減につながります。